

学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

法経専攻

【法政コース】

（知識・理解）

- ・法学の学術的理論・専門知識を習得している。
- ・法学の専門知識に基づいて、社会問題を学術的側面から理解することができる。

（思考・判断）

- ・法学の専門知識に基づいて、的確に研究に必要な情報を収集することができる。
- ・社会問題の原因について、的確な情報により、法学の学術的理論を応用して分析・研究することができる。

（関心・意欲・態度）

- ・法学の専門知識と学術理論を応用して、自らの課題を設定する意欲を有する。
- ・現代の社会問題について、法学の学術的理論の応用としての解決に向け積極的にとりくむことができる。

（技能・表現）

- ・社会問題の解決に向けて、法学の専門知識を他者に伝え、協働してとりくむことができる。
- ・社会問題について、他者との議論を通じて法学の学術的理論に基づく考えをまとめ、その応用としての解決策を的確に表現できる。
- ・高度専門職業人として必要な法学理論と技法に基づいて、社会問題の解決に着手することができる。

【地域経済コース】

（知識・理解）

- ・経済学の学術的理論・専門知識を習得している。
- ・経済学の専門知識に基づいて、社会問題を学術的側面から理解することができる。

（思考・判断）

- ・経済学の専門知識に基づいて、的確に研究に必要な情報を収集することができる。
- ・社会問題の原因について、的確な情報により、経済学の学術的理論を応用して分析・研究することができる。

（関心・意欲・態度）

- ・経済学の専門知識と学術理論を応用して、自らの課題を設定する意欲を有する。
- ・社会問題について、経済学の学術的理論の応用としての解決に向け積極的にとりくむことができる。

（技能・表現）

- ・社会問題の解決に向けて、経済学の専門知識を他者に伝え、協働してとりくむことができる。
- ・社会問題について、他者との議論を通じて経済学の学術的理論に基づく考えをまとめ、その応用としての解決策を的確に表現できる。
- ・高度専門職業人として必要な経済理論と技法に基づいて、社会問題の解決に着手することができる。

言語・社会文化専攻

【言語文化コース】

(知識・理解)

- ・言語や文化の理論および研究方法について、専門知識を身につけている。
- ・専門知識に基づいて書物や作品を理解することができる。

(思考・判断)

- ・設定された問題を解決するために必要なデータを収集し、整理することができる。
- ・収集・整理したデータを専門的な研究方法に基づいて分析し、論理的に結論に導くことができる。

(関心・意欲・態度)

- ・言語や文化に関わる既存の言説を批判的に検討することによって、独自の研究課題を設定し、探求することができる。
- ・異文化への関心を持ち、自文化を相対化して考えることができる。
- ・身につけた専門知識や技能をいかして、現代社会の諸課題にとりくむことができる。

(技能・表現)

- ・論理的な文章を作成することができる。
- ・自らの研究成果を、聴く人や読む人に理解してもらえるような仕方で表現することができる。

【社会文化コース】

(知識・理解)

- ・人文・社会諸科学の理論および方法について、専門知識を身につけている。

(思考・判断)

- ・人間と社会に関わる諸問題について、人文・社会諸科学の研究方法に基づいて、専門的に考察することができる。
- ・課題解決に必要な情報を、専門的な枠組みに基づいて収集・分析することができる。

(関心・意欲・態度)

- ・自らの専門的関心を深め、それに基づいて学術的で独自の研究課題を設定し、探求することができる。
- ・地域社会の諸課題に、専門的な視点から主体的にとりくむことができる。

(技能・表現)

- ・自らの考えを、文章や口頭で論理的・説得的に表現できる。
- ・他者と円滑に交流・協働し、自らの専門性を活かしながら課題にとりくむことができる。